

ラボ・センター紹介

ソーシャルデザインセンター (SDC, Social Design Center)

公式サイト:
▶ <http://lab.sdm.keio.ac.jp/sdc/>

SDC
Social Design Center

代表



前野隆司 教授

中心メンバー

早田吉伸 研究員
白坂成功 准教授
保井俊之 特任教授
手嶋龍一 教授
神武直彦 准教授 他

なぜ、センター？

SDM研究所の中には多くのラボがあり、様々な「研究」活動が行われています。しかし、大学でできることには、教育・研究活動だけでなく、実践的な社会貢献活動もあるのではないかと。そのようなモチベーションのもと、SDM研究所内に最初に立ち上げたセンターが、新たな社会システムイノベーションの先導を目指すSDCです。

SDCとは？

現在、我々は世界規模の大変革期に生きています。従来の社会システムが機能不全を起し、次々と新たな社会課題が噴出しています。これからは、『社会課題を解決するための新たな社会システムを“実践”（プロジェクトベース）を通じてデザインする』という発想が必要ではないでしょうか。また、大規模で複雑な社会課題は、誰か一人で解決できるものではありません。多様な担い手（マルチステークホルダー）による合意形成とソリューション開発を一体的に進めることが必要です。

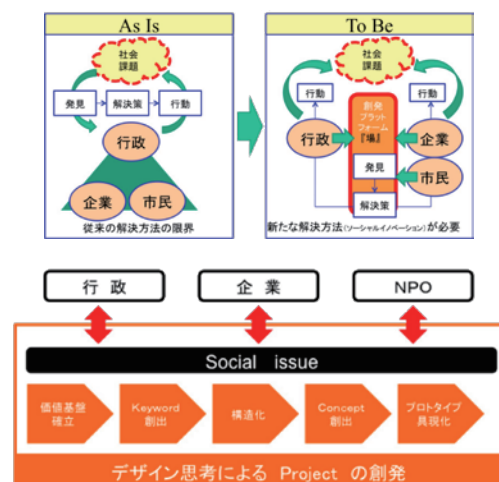
このような「社会課題起点」「デザイン思考」「プロジェクトベース」「マルチステークホルダープロセス」をキーワードに、私たちは「ソーシャルデザインセンター（SDC）」を立ち上げました。

SDCの活動のベースになるのは、慶應義塾大学日吉キャンパスにある「協生館」です。この「協生」の思想の下、ここには様々な分野で活躍する社会人学生等、社会変革の担い手たる産学官民の多様な人材が「教育」「研究」のために集まっています。まさにメルティングポットです。一方、慶應義塾大学・大学院全体を見回すと、多様な分野にまたがる「教育」「研究」の場として、知的ネットワークが集積されています。こうした知的資産を十分に活用し、またこれからの大学を「教育」「研究」のみならず、社会の再構築を先導するための「実践」の場にすべく、新しい取組へ挑戦しています。

SDCのコンセプトと基本プロセスとは？

SDCのコンセプトは「創発プラットフォーム」です。ここで参考としているのが、欧州を起点に広がっている「フューチャーセンター (Future Center)」の考え方です。フューチャーセンターとは、多様な参加者による未来志向の対話を通じて、創造的な協業を行い、複雑な社会問題を共に解決していく場のことです。SDCは日本ではほとんどみられない大学発の「フューチャーセンター」です。

またここでのデザインプロセスとしては大きく5つのステップを考えています。「価値基盤の確立」「キーワードの創出」「構造化」「コンセプト創出」「プロトタイプ化」です。



活動事例1 関内フューチャーセンター連携プロジェクト



イベントの様子



参加した前野隆司研究科委員長と早田吉伸研究員

SDCでは、地元横浜での活動として、関内フューチャーセンター（横浜市中区北仲通3）との連携活動を実施しています。関内フューチャーセンターは、新たなまちづくりを目指し横浜市と連携した社会起業家やクリエイターのインキュベーション拠点施設です。「mass×mass関内」をキーワードに社会起業家やクリエイターの集積・コラボレーションをはじめ、海外とのネットワーク構築を目指しています。SDCではこうした場づくりそのものをデザインしていく支援を行っています。

2011年7月7日にはテイキングオフイベントが開催され、120名を超える産官学民の多様なセクターの方々が参加し、活発な議論と情報交流が行われました。SDCからもオープニングシンポジウムに前野隆司教授（SDCセンター長）と早田吉伸研究員（SDCディレクター）が登壇し、横浜地域での新しい公共イノベーションの可能性について参加者と議論を行いました。

今後は、この場所を拠点に、まちづくりや社会起業家を輩出していくためのワークショップを実施していく予定です。

活動事例2 福島復興支援プロジェクト



イベントの様子



学生によるプレゼンテーション

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、甚大な被害を受けたのみならず、半年近く経過する今もなお、余震の問題や、放射線量の問題、風評被害など様々な問題を抱えている福島。このような、福島が抱える大規模・複雑な問題に立ち向かうべく設立されたのが福島復興支援プロジェクトです。

活動内容としては、福島の復興に関わる勉強会の開催や、各メンバーが行っている福島復興支援活動の進捗報告などを行っています。また定期的に「福島復興支援」をテーマとしたイベントも開催しており、2011年6月11日には吉田泉財務大臣政務官をお呼びして参加者全員参加型で福島の現状や復興に向けての熱い議論を行いました。

現在は勉強会やイベントを主に行っていますが、将来的には福島にフューチャーセンターを立ち上げるなど福島復興に向けたリアルプロジェクトの実施を検討中です。

ご支援・ご協力をお願い

SDCでは、上記の事例のみならず、社会貢献や社会システムイノベーションの先導をめざし、様々な活動を行っています。また、メソッド開発、フューチャーセンター運営方法論、イベントマネジメント方法論などの研究活動から、自治体との協定と地域活性化、NPO/NGO・社会企業・ビジネス支援といった社会での実践活動まで、SDM研究所内の他のラボや外部組織との活発な連携を行っています。「社会課題を解決したい」「社会を変革したい」「社会貢献活動に参加したい」「社会デザイン&マネジメントについて学びたい」など、様々なモチベーションを持った皆様、ぜひ協働しましょう。ご連絡をお待ちしています。



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1 慶應義塾大学 協生館
Tel: 045-564-2518 Fax: 045-562-3502 E-mail: sdm@info.keio.ac.jp

SDM
System Design and Management